

重点アクション	取組番号	取組	進捗確認
キュレーション活動の推進	8-①	ジャパンサーチ上に、連携デジタルコンテンツをテーマごとに解説付きで紹介する「ギャラリー」を作成し、その魅力を発信します。	
	8-②	所属する組織を横断してギャラリーを共同制作します。	
	8-③	ギャラリー作成の魅力を伝えるワークショップなどを行います。	
	8-④	デジタルとフィジカルを融合させた新たな魅力ある企画展示を行います。	
	2-④	フィジカルな展示とバーチャルな展示の融合、又はバーチャルな展示におけるフィジカルな展示の再利用など、博物館・美術館、文書館、図書館等のキュレーション活動でジャパンサーチを使った新たな取組を実践します。	
	2-①	ジャパンサーチのキュレーション機能に関するワークショップの開催等を通じて、キュレーション活動を支援します。	
	2-③	マイギャラリー機能を用いたコンテストの開催等、キュレーション活動を実践します。	
	1-①	学校授業やカルチャースクールなど学びの場でのジャパンサーチの活用を推進するため、具体的な活用方法を提案し、また、情報交換の場の構築を支援します。	
	6-⑦	多様なデジタルアーカイブのデータを使ったアイデアソン・ハッカソンを共同開催します。	
広報の強化	6-②	イベントやSNSを通じて、ジャパンサーチの連携コンテンツの紹介やデジタルアーカイブの様々な利活用事例を発信します。また、ジャパンサーチと連携機関の広報協力を推進します。	
	10-①		
	10-②	ジャパンサーチロゴをサイトに貼るなど、連携機関等のデジタルアーカイブ・ウェブサイトからジャパンサーチにアクセスするための流入口を設けます。	
	2-⑤	ジャパンサーチの連携コンテンツを広報活動において素材として活用し、それを通じて報道機関などメディアが発信する素材としての活用を促進します。	
	6-④	組織やコミュニティ内の広報関係者、教育担当者、展示企画担当者等にジャパンサーチの取組を情報共有します。	
	6-⑤	組織内やコミュニティ内の研修において、ジャパンサーチを紹介します。	
	6-⑧	報道機関等のメディアや様々な領域のクリエイターにジャパンサーチの連携コンテンツの活用方法を紹介します。	
関連する知識と経験の共有	3-③	組織内・コミュニティ内の関係者と一緒にジャパンサーチのイベント等に参加して、知識・経験を共有します。	
	7-④	組織内・コミュニティ内で既存のネットワークを使って、デジタルアーカイブに関する取組を共有します。	
	7-①	「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」をはじめとするデジタルアーカイブ推進に当たってのガイドラインや「デジタルアーカイブアクセスメントツール」を必要に応じて改訂し、広く共有します。	
	3-④		
	7-⑤	連携機関によるアーカイブ構築や連携事例等、実務的で有用な情報を発信します。	
	5-②	ジャパンサーチとの連携にかかるコストを低くするため、連携に必要な事項の共有、推奨する連携方法の普及に努めます。	
	15-①	連携機関と活用者との交流、異なる分野・地域コミュニティ間の交流促進を目的としたイベント等を開催します。（例：ジャパンサーチフェス）	
	16-③	デジタルアーカイブを用いて、サービス・日常業務の変革が行われたベストプラクティスを共有します。	
	16-⑤	デジタルアーカイブを日常にする取組（デジタル化の推進、オープン化の推進、新たなデジタル技術を用いた新しいサービスの提供等）を積極的に行うアーカイブ機関や活用者を表彰します。	
二次利用条件の整備 オープン化の推進	12-①	コンテンツ画像URLやサムネイル画像URL、解説、二次利用条件など、メタデータの内容を充実させます。	
	12-③	「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について」の周知を促進します。ジャパンサーチ上で提供されるデジタルコンテンツに適切な二次利用条件が分かり易く表示されるよう、適切な二次利用条件を設定します。	
	13-①	ジャパンサーチと連携するデジタルコンテンツのオープン化（CC0、CC BY、CC BY-SA及びPDM）を検討し、可能な範囲でオープン化に取り組みます。	
地域アーカイブとの連携拡充	9-①	ジャパンサーチに登録するデジタルコンテンツを増やします。幅広い時代・分野のコンテンツを拡充します。	
	11-②	地域の特色あるデジタルコンテンツを増やします。	
	11-①	47都道府県にある、地域の特色あるデジタルアーカイブとの連携を推進します。	
	5-①	幅広い分野・地域のアーカイブ機関との連携を推進するため、デジタルアーカイブの連携の意義・必要性を広く周知します。	

2022-2023 重点アクション 自己診断表－活ユーザー用

A: 取組中、B: 検討中、C: 未実施

重点アクション	取組番号	取組	進捗確認
キュレーション活動の推進	8-③	ギャラリー作成の魅力を伝えるワークショップなどを行います。	
	8-④	デジタルとフィジカルを融合させた新たな魅力ある企画展示を行います。	
	2-④	フィジカルな展示とバーチャルな展示の融合、又はバーチャルな展示におけるフィジカルな展示の再利用など、博物館・美術館、文書館、図書館等のキュレーション活動でジャパンサーチを使った新たな取組を実践します。	
	2-①	ジャパンサーチのキュレーション機能に関するワークショップの開催等を通じて、キュレーション活動を支援します。	
	2-③	マイギャラリー機能を用いたコンテストの開催等、キュレーション活動を実践します。	
	1-①	学校授業やカルチャースクールなど学びの場でのジャパンサーチの活用を推進するため、具体的な活用方法を提案し、また、情報交換の場の構築を支援します。	
広報の強化	6-⑦	多様なデジタルアーカイブのデータを使ったアイデアソン・ハッカソンを共同開催します。	
	6-②	イベントやSNSを通じて、ジャパンサーチの連携コンテンツの紹介やデジタルアーカイブの様々な利活用事例を発信します。また、ジャパンサーチと連携機関の広報協力を推進します。	
	10-①		
	10-②	ジャパンサーチロゴをサイトに貼るなど、連携機関等のデジタルアーカイブ・ウェブサイトからジャパンサーチにアクセスするための流入入口を設けます。	
	2-⑤	ジャパンサーチの連携コンテンツを広報活動において素材として活用し、それを通じて報道機関などメディアが発信する素材としての活用を促進します。	
関連する知識と経験の共有	6-⑤	組織内やコミュニティ内の研修において、ジャパンサーチを紹介します。	
	6-⑧	報道機関等のメディアや様々な領域のクリエイターにジャパンサーチの連携コンテンツの活用方法を紹介します。	
	3-③	組織内・コミュニティ内の関係者と一緒にジャパンサーチのイベント等に参加して、知識・経験を共有します。	
	7-④	組織内・コミュニティ内で既存のネットワークを使って、デジタルアーカイブに関する取組を共有します。	
	3-④		
	7-⑤	連携機関によるアーカイブ構築や連携事例等、実務的で有用な情報を発信します。	
	5-②	ジャパンサーチとの連携にかかるコストを低くするため、連携に必要な事項の共有、推奨する連携方法の普及に努めます。	
	15-①	連携機関と活ユーザーとの交流、異なる分野・地域コミュニティ間の交流促進を目的としたイベント等を開催します。（例：ジャパンサーチフェス）	
16-③	デジタルアーカイブを用いて、サービス・日常業務の変革が行われたベストプラクティスを共有します。		
16-⑤	デジタルアーカイブを日常にする取組（デジタル化の推進、オープン化の推進、新たなデジタル技術を用いた新しいサービスの提供等）を積極的に行うアーカイブ機関や活ユーザーを表彰します。		
地域アーカイブとの連携拡充	5-①	幅広い分野・地域のアーカイブ機関との連携を推進するため、デジタルアーカイブの連携の意義・必要性を広く周知します。	

2022-2023 重点アクション 自己診断表－事務局用

A: 取組中、B: 検討中、C: 未実施

重点アクション	取組番号	取組	進捗確認	
キュレーション活動の推進	8-①	ジャパンサーチ上に、連携デジタルコンテンツをテーマごとに解説付きで紹介する「ギャラリー」を作成し、その魅力を発信します。		
	8-②	所属する組織を横断してギャラリーを共同制作します。		
	8-③	ギャラリー作成の魅力を伝えるワークショップなどを行います。		
	8-⑥	連携機関にマイギャラリー、ワークスペース・プロジェクトを使ったデジタルコンテンツの発信方法を伝えます。		
	2-①	ジャパンサーチのキュレーション機能に関するワークショップの開催等を通じて、キュレーション活動を支援します。		
	2-③	マイギャラリー機能を用いたコンテストの開催等、キュレーション活動を実践します。		
	1-①	学校授業やカルチャースクールなど学びの場でのジャパンサーチの活用を推進するため、具体的な活用方法を提案し、また、情報交換の場の構築を支援します。		
	6-①	ジャパンサーチの利活用機能であるマイノート（ブックマーク機能）、マイギャラリー、ワークスペース、プロジェクトなどの利用方法を分かりやすく発信します。		
	6-⑦	多様なデジタルアーカイブのデータを使ったアイデアソン・ハッカソンを共同開催します。		
	2-②	より直感的にキュレーションが行えるよう、マイギャラリー機能の更なる改善を図ります。		
	10-⑥	ジャパンサーチ利用マニュアル、ヘルプ等のページを充実させます。		
	14-⑤	「開発者向け情報」の充実、また、APIを活用しやすいツールの提供により、ジャパンサーチのAPIを使ったアプリケーション等の作成を支援します。		
	広報の強化	6-②	イベントやSNSを通じて、ジャパンサーチの連携コンテンツの紹介やデジタルアーカイブの様々な活用事例を発信します。また、ジャパンサーチと連携機関の広報協力を推進します。	
		10-①		
2-⑤		ジャパンサーチの連携コンテンツを広報活動において素材として活用し、それを通じて報道機関などメディアが発信する素材としての活用を促進します。		
6-⑧		報道機関等のメディアや様々な領域のクリエイターにジャパンサーチの連携コンテンツの活用方法を紹介します。		
6-⑨		地方自治体等（行政）にデジタルアーカイブの意義と活用事例を分かりやすく発信します。		
14-②	世界で多く利用されている検索エンジンでジャパンサーチのページが上位に表示されるようSEO対策を行います。			
広報の強化	7-①	「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」をはじめとするデジタルアーカイブ推進に当たってのガイドラインや「デジタルアーカイブアセスメントツール」を必要に応じて改訂し、広く共有します。		
	4-②	「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン」及び「デジタルアーカイブアセスメントツール」を普及するため、説明会の開催、マニュアルの作成等を行います。		
	3-④			
	7-⑤	連携機関によるアーカイブ構築や連携事例等、実務的で有用な情報を発信します。		
	7-②	ジャパンサーチとの連携に必要な情報を分かりやすく発信します。また、連携促進となる活用者の声を届けます。		
	5-②	ジャパンサーチとの連携にかかるコストを低くするため、連携に必要な事項の共有、推奨する連携方法の普及に努めます。		
	15-①	連携機関と活用者との交流、異なる分野・地域コミュニティ間の交流促進を目的としたイベント等を開催します。（例：ジャパンサーチフェス）		
	16-③	デジタルアーカイブを用いて、サービス・日常業務の変革が行われたベストプラクティスを共有します。		
16-⑤	デジタルアーカイブを日常にする取組（デジタル化の推進、オープン化の推進、新たなデジタル技術を用いた新しいサービスの提供等）を積極的に行うアーカイブ機関や活用者を表彰します。			
二次利用条件の整備 オープン化の推進	12-①	コンテンツ画像URLやサムネイル画像URL、解説、二次利用条件など、メタデータの内容を充実させます。		
	12-③	「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について」の周知を促進します。ジャパンサーチ上で提供されるデジタルコンテンツに適切な二次利用条件が分かり易く表示されるよう、適切な二次利用条件を設定します。		
	13-②	コンテンツのオープン化の必要性・重要性を分かりやすい形で情報提供し、優れた取組事例の共有を図り、アーカイブ機関がオープン化に取り組める環境を醸成します。		
	13-③	オープン化に取り組んだ機関にインセンティブが生じるような仕組みを用意する。（例：表彰する仕組み、EuropeanaのGIF IT UPのように、オープンな作品を使ったコンペの実施など）		
地域アーカイブとの連携拡充	3-①	幅広い分野・地域のデジタルアーカイブを繋ぎ、コンテンツを集約して使いやすいたちで提供します。		
	9-①	ジャパンサーチに登録するデジタルコンテンツを増やします。幅広い時代・分野のコンテンツを拡充します。		
	11-①	47都道府県にある、地域の特徴あるデジタルアーカイブとの連携を推進します。		
	5-①	幅広い分野・地域のアーカイブ機関との連携を推進するため、デジタルアーカイブの連携の意義・必要性を広く周知します。		
	11-④	地域アーカイブの連携に関する優良事例の紹介、分野を横断した連携に必要な情報の提供、ジャパンサーチの連携のお試し機能（プロジェクト）の提供等により、地域アーカイブのつなぎ役となる機関の醸成を支援します。		
	11-⑤	つなぎ役経由で連携するアーカイブ機関がジャパンサーチと円滑に連携できるようにサポートします。		

ジャパンサーチ・アクションプラン2021-2025

戦略方針 アクション	目標 ※赤字は重点の多い目標	取組番号	取組	2022- 23重点	JPS	連携機関	活用者
支える	1. 日々の学びや遊びの場でデジタルコンテンツを使った体験を可能にします	1-①	学校授業やカルチャースクールなど学びの場でのジャパンサーチの活用を推進するため、具体的な活用方法を提案し、また、情報交換の場の構築を支援します。	○	●	▲	■
		1-②	デジタルコンテンツの楽しさや魅力を気軽に体験できるよう、ジャパンサーチの機能を充実させます。		●		
		1-③	遊びの場での体験を創出するため、SNSの素材、プログラミングやゲーム作成の素材、探索・検索ゲーム、新たなボードゲームの創出等でのジャパンサーチの利用を促進します。		●	▲	■
		1-④	アウトリーチプログラムやハッカソン・アイデアソン等を通じて、遊び/学びながら情報リテラシーが向上するジャパンサーチの活用方法を提案します。		●	▲	■
		1-⑤	おはなし会や文化祭など、これまでフィジカルな取組が中心だったイベント等でデジタルアーカイブとのコラボレーションを実践します。			▲	■
		1-⑥	ジャパンサーチがAPIで提供する利活用データの学術・研究での利用を促進させます。		●	▲	■
	2. デジタルコンテンツの様々なキュレーション活動を支えます	2-①	ジャパンサーチのキュレーション機能に関するワークショップの開催等を通じて、キュレーション活動を支援します。	○	●	▲	■
		2-②	より直感的にキュレーションが行えるよう、マイギャラリー機能の更なる改善を図ります。	○	●		
		2-③	マイギャラリー機能を用いたコンテストの開催等、キュレーション活動を実践します。	○	●	▲	■
		2-④	フィジカルな展示とバーチャルな展示の融合、又はバーチャルな展示におけるフィジカルな展示の再利用など、博物館・美術館、文書館、図書館等のキュレーション活動でジャパンサーチを使った新たな取組を実践します。	○		▲	■
		2-⑤	ジャパンサーチの連携コンテンツを広報活動において素材として活用し、それを通じて報道機関などメディアが発信する素材としての活用を促進します。	○	●	▲	■
		2-⑥	デジタルコンテンツを活用した様々なキュレーションの可能性を広げるための取組を支援します。		●		
	3. 幅広い分野・地域の機関のコンテンツを繋ぎ、ひとつも繋ぎます	3-①	幅広い分野・地域のデジタルアーカイブを繋ぎ、コンテンツを集約して使いやすいかたちで提供します。	○	●		
		3-②	連携機関フォーラム、ワークショップの開催など、分野横断的に関係者・連携機関が課題や知見を共有できる機会を増やします。		●		
		3-③	組織内・コミュニティ内の関係者と一緒にジャパンサーチのイベント等に参加して、知識・経験を共有します。	○		▲	■
		3-④	連携機関によるアーカイブ構築や連携事例等、実務的で有用な情報を発信します。	○	●	▲	
		3-⑤	質問フォーラムの用意、イベント時の相談会など、デジタルアーカイブの構築・連携相談窓口を開設します。		●		
		3-⑥	ジャパンサーチのAPI又はウェブパーツ機能を使って、アーカイブ機関等のデジタルアーカイブ・ウェブサイトとジャパンサーチをつなぎます。			▲	■
4. 社会に生み出される大小様々なデジタルアーカイブを長く支えます	4-①	長期的なアクセスを確保するデジタルアーカイブの構築・提供を推進するため、デジタルデータの長期保存対策の必要性と取組の重要性を周知します。		●	▲	■	
	4-②	「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン」及び「デジタルアーカイブアクセスメントツール」を普及するため、説明会の開催、マニュアルの作成等を行います。	○	●			
	4-③	長期保存の具体的なソリューションやベストプラクティス、あるいは失敗事例を広く共有します。		●	▲	■	
	4-④	長期保存についても相談できる窓口を開設します。		●			
	4-⑤	閉鎖するアーカイブのデータ承継の方法について検討します。		●	▲		
伝える	5. 多様なデジタルアーカイブを集約・整理し、現在、そして未来へ効果的に伝えます	5-①	幅広い分野・地域のアーカイブ機関との連携を推進するため、デジタルアーカイブの連携の意義・必要性を広く周知します。	○	●	▲	■
		5-②	ジャパンサーチとの連携にかかるコストを低くするため、連携に必要な事項の共有、推奨する連携方法の普及に努めます。	○	●	▲	■
		5-③	集約したメタデータを整理し、更なる情報の追加や多言語化、リンクトオープンデータ（LOD）化など、付加価値情報を付与して、使いやすいかたちで提供します。		●	▲	■
		5-④	分野・コミュニティ内のメタデータや用語の標準化を進めます。			▲	
	6. 様々なコミュニティにデジタルアーカイブの活用方法を伝えます	6-①	ジャパンサーチの利活用機能であるマイノート（ブックマーク機能）、マイギャラリー、ワークスペース、プロジェクトなどの利用方法を分かりやすく発信します。	○	●		
		6-②	イベントやSNSを通じて、ジャパンサーチの連携コンテンツの紹介やデジタルアーカイブの様々な利活用事例を発信します。また、ジャパンサーチと連携機関の広報協力を推進します。	○	●	▲	■
		6-③	組織やコミュニティ内での活用が円滑に進むよう、リーフレットの作成、API活用ツールやプログラミング教材の作成、実践的なワークショップの開催など、必要な情報を提供します。		●	▲	■
		6-④	組織やコミュニティ内の広報関係者、教育担当者、展示企画担当者等にジャパンサーチの取組を情報共有します。	○		▲	
		6-⑤	組織内やコミュニティ内の研修において、ジャパンサーチを紹介します。	○		▲	■
		6-⑥	学校関係者のほか、生涯教育・社会教育、カルチャースクール等、学びの場の関係者に向けて、ジャパンサーチを含むデジタルアーカイブを活用したイベント等を開催します。		●	▲	■
		6-⑦	多様なデジタルアーカイブのデータを使ったアイデアソン・ハッカソンを共同開催します。	○	●	▲	■
		6-⑧	報道機関等のメディアや様々な領域のクリエイターにジャパンサーチの連携コンテンツの活用方法を紹介します。	○	●	▲	■
		6-⑨	地方自治体等（行政）にデジタルアーカイブの意義と活用事例を分かりやすく発信します。	○	●		
		7-①	「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」をはじめとするデジタルアーカイブ推進に当たってのガイドラインや「デジタルアーカイブアクセスメントツール」を必要に応じて改訂し、広く共有します。	○	●	▲	

戦略方針 アクション	目標 ※赤字は重点の多い目標	取組番号	取組	2022- 23重点	JPS	連携機関	活用者
拡げる	7. アーカイブ機関のデジタルアーカイブ構築・連携に必要な情報を共有します	7-②	ジャパンサーチとの連携に必要な情報を分かりやすく発信します。また、連携促進となる活用者の声を届けます。	○	●		
		7-③	説明会の開催、研修の実施又は研修講師の派遣等、アーカイブ機関がデジタルアーカイブの構築及び連携に関する知見を共有できる機会を増やします。		●	▲	
		7-④	組織内・コミュニティ内で既存のネットワークを使って、デジタルアーカイブに関する取組を共有します。	○		▲	■
		7-⑤	連携機関によるアーカイブ構築や連携事例等、実務的で有用な情報を発信します。(再掲)	○	●	▲	■
		7-⑥	質問フォームの用意、イベント時の相談会など、デジタルアーカイブの構築・連携相談窓口を開設します。(再掲)		●		
		8-①	ジャパンサーチ上に、連携デジタルコンテンツをテーマごとに解説付きで紹介する「ギャラリー」を作成し、その魅力を発信します。	○	●	▲	
	8. ギャラリー等でデジタルコンテンツの魅力を発信します	8-②	所属する組織を横断してギャラリーを共同制作します。	○	●	▲	
		8-③	ギャラリー作成の魅力を伝えるワークショップなどを行います。	○	●	▲	■
		8-④	デジタルとフィジカルを融合させた新たな魅力ある企画展示を行います。	○		▲	■
		8-⑤	連携機関によるギャラリー作成を支援するため、必要な機能や情報を整備します。		●		
		8-⑥	連携機関にマイギャラリー、ワークスペース・プロジェクトを使ったデジタルコンテンツの発信方法を伝えます。	○	●		
		9. 各種資料のデジタル化を推進し、デジタル空間の知識基盤を充実させます	9-①	ジャパンサーチに登録するデジタルコンテンツを増やします。幅広い時代・分野のコンテンツを拡充します。	○	●	▲
	9-②		デジタル化の技術情報(画像作成仕様を含む。)や、所蔵資料の整備方法、メタデータの構築方法など、デジタルコンテンツの拡充に有益な情報をアーカイブ機関等と共有します。また、それらに関する情報発信を行います。		●	▲	
	9-③		デジタルアーカイブの構築を手軽に体験できるツール等を作成し、公開します。		●		■
	9-④		「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」に沿った資料のデジタル化を行います。			▲	
	9-⑤		アーカイブ機関が作成又は収集したデジタルコンテンツをウェブ公開するためのマニュアルを作成します。		●		
	9-⑥		質問フォームの用意、イベント時の相談会など、デジタルアーカイブの構築・連携相談窓口を開設します。(再掲)		●		
	10. デジタルアーカイブを活かせる人材を発掘し、ファンを増やします	10-①	イベントやSNSを通じて、ジャパンサーチの連携コンテンツの紹介やデジタルアーカイブの様々な活用事例を発信します。また、ジャパンサーチと連携機関の広報協力を推進します。(再掲)	○	●	▲	■
10-②		ジャパンサーチロゴをサイトに貼るなど、連携機関等のデジタルアーカイブ・ウェブサイトからジャパンサーチにアクセスするための流入口を設けます。	○		▲	■	
10-③		デジタルアーカイブの活用を促すためのワークショップを開催します。		●	▲		
10-④		拡げ役(活用を推進する人・団体)を創出し、その活動を支援します。		●	▲	■	
10-⑤		ジャパンサーチ連携アーカイブの様々な活用方法を提案し、一般市民に発信する人材を発掘します。		●	▲	■	
10-⑥		ジャパンサーチ利用マニュアル、ヘルプ等のページを充実させます。	○	●			
11. 日本の魅力、特に地域の特色のあるデジタルアーカイブ連携を拡充します	11-①	47都道府県にある、地域の特色あるデジタルアーカイブとの連携を推進します。	○	●	▲		
	11-②	地域の特色あるデジタルコンテンツを増やします。	○		▲		
	11-③	ジャパンサーチの連携方針を具体化し、コレクションポリシーを策定します。		●			
	11-④	地域アーカイブの連携に関する優良事例の紹介、分野を横断した連携に必要な情報の提供、ジャパンサーチの連携のお試し機能(プロジェクト)の提供等により、地域アーカイブのつなぎ役となる機関の醸成を支援します。	○	●			
	11-⑤	つなぎ役経由で連携するアーカイブ機関がジャパンサーチと円滑に連携できるようにサポートします。	○	●			
	11-⑥	日本由来のコンテンツを所蔵する海外デジタルアーカイブとの連携について検討します。		●	▲		
12. 見つけやすく利用条件が整備された使いやすいコンテンツを増やします	12-①	コンテンツ画像URLやサムネイル画像URL、解説、二次利用条件など、メタデータの内容を充実させます。	○	●	▲		
	12-②	英語のメタデータ(タイトル、解説等)を充実させます。		●	▲		
	12-③	「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について」の周知を促進します。ジャパンサーチ上で提供されるデジタルコンテンツに適切な二次利用条件が分かり易く表示されるよう、適切な二次利用条件を設定します。	○	●	▲		
	12-④	デジタルコンテンツの二次利用条件について連携機関や有識者の知見を共有し、議論する場を設けます。		●	▲		
13. 自由に利用できるオープンなデジタルコンテンツを最大化します	13-①	ジャパンサーチと連携するデジタルコンテンツのオープン化(CCO、CC BY、CC BY-SA及びPDM)を検討し、可能な範囲でオープン化に取り組みます。	○		▲		
	13-②	コンテンツのオープン化の必要性・重要性を分かりやすい形で情報提供し、優れた取組事例の共有を図り、アーカイブ機関がオープン化に取り組める環境を醸成します。	○	●			
	13-③	オープン化に取り組んだ機関にインセンティブが生じるような仕組みを用意する。(例:表彰する仕組み、EuropeanaのGIF IT UPのように、オープンな作品を使ったコンペの実施など)	○	●			
	13-④	デジタル庁の「オープンデータ伝道師」等にジャパンサーチを知ってもらい、デジタルアーカイブのオープン化に関する普及活動を支援します。		●			
	13-⑤	アーカイブ機関が安心してオープン化できるよう、CC0、PDM等のオープンデータであってもデジタルコンテンツの利用に当たっては必ず出典を記載するなど、活用者の情報リテラシーを高める活動を行います。		●	▲	■	
		14-①	ユーザが求めるコンテンツが速やかに見つかるよう、検索性能の高度化、画像検索の精度向上に取り組みます。また、関連コンテンツの表示を工夫し、ユーザの新たな発見を促します。		●		

戦略方針 アクション	目標 ※赤字は重点の多い目標	取組番号	取組	2022- 23重点	JPS	連携機関	活用者
挑む	14. 先進技術を駆使してデジタルアーカイブの新たな可能性を示します	14-②	世界で多く利用されている検索エンジンでジャパンサーチのページが上位に表示されるようSEO対策を行います。	○	●		
		14-③	先端的な情報技術の研究開発を継続して行い、デジタルアーカイブの構築・連携・活用促進のために、新しいサービスモデルの開発、有用なツール（メタデータの自動整備、手書きメタデータのテキスト化支援等）の開発に取り組みます。		●	▲	■
		14-④	AIによるサービス開発や新しいサービス・イノベーション創出のため、デジタルアーカイブを用いたデータセットを構築・公開します。		●	▲	■
		14-⑤	「開発者向け情報」の充実、また、APIを活用しやすいツールの提供により、ジャパンサーチのAPIを使ったアプリケーション等の作成を支援します。	○	●		
		14-⑥	集約したメタデータを整理し、更なる情報の追加や多言語化、LOD化などの付加価値情報を付与したRDFデータをWikidataに提供します。また、研究者・技術者等に役立つ機械学習用のデータセットを提供します。		●	▲	
		15-①	連携機関と活用者との交流、異なる分野・地域コミュニティ間の交流促進を目的としたイベント等を開催します。（例：ジャパンサーチフェス）	○	●	▲	■
	15. 分野・地域を超えた新たなコミュニティネットワークを構築します	15-②	学びの場での利用、学術・研究利用、ツーリズム利用など、目的ごとの活用コミュニティ創出を支援し、教育関係者、行政、大学、企業等の様々な立場のひとを対象にした情報交換の機会を提供します。		●	▲	■
		15-③	「開発者向け情報」の英語発信の充実、APIを活用しやすいツールの提供により、ジャパンサーチのAPIを用いた海外のデジタルアーカイブとの連携を促します。		●		■
		15-④	海外機関との交流促進のため、GIF IT UP以外にも、連携コンテンツのキュレーションに関して、EuropeanaやDPLA等との協力事業を拡大します。		●	▲	■
		16-①	ジャパンサーチは社会のDXをリードする立場として、アーカイブ機関のDXを支える技術情報やデジタルツールを提供します。		●		
	16. 知識の生産・活用の循環による社会のデジタルトランスフォーメーションを促します	16-②	アーカイブ機関が提供するデータに付加価値情報を付与し、アーカイブ機関の新しい価値の創出や、アイデンティティの発見を促します。		●	▲	■
		16-③	デジタルアーカイブを用いて、サービス・日常業務の変革が行われたベストプラクティスを共有します。	○	●	▲	■
		16-④	ワークショップ開催のほか、デジタルアーカイブの構築から活用までの望ましいモデルの構築等、ジャパンサーチ・アクションプランを社会に浸透させる取組を実施します。		●	▲	■
		16-⑤	デジタルアーカイブを日常にする取組（デジタル化の推進、オープン化の推進、新たなデジタル技術を用いた新しいサービスの提供等）を積極的に行うアーカイブ機関や活用者を表彰します。	○	●	▲	■

2022-2023 重点アクションプラン一覧

重点アクション	取組番号	取組	JPS	連携機関	活用者
キュレーション活動の推進	8-①	ジャパンサーチ上に、連携デジタルコンテンツをテーマごとに解説付きで紹介する「ギャラリー」を作成し、その魅力を発信します。	●	▲	
	8-②	所属する組織を横断してギャラリーを共同制作します。	●	▲	
	8-③	ギャラリー作成の魅力を伝えるワークショップなどを行います。	●	▲	■
	8-⑥	連携機関にマイギャラリー、ワークスペース・プロジェクトを使ったデジタルコンテンツの発信方法を伝えます。	●		
	8-④	デジタルとフィジカルを融合させた新たな魅力ある企画展示を行います。		▲	■
	2-④	フィジカルな展示とバーチャルな展示の融合、又はバーチャルな展示におけるフィジカルな展示の再利用など、博物館・美術館、文書館、図書館等のキュレーション活動でジャパンサーチを使った新たな取組を実践します。		▲	■
	2-①	ジャパンサーチのキュレーション機能に関するワークショップの開催等を通じて、キュレーション活動を支援します。	●	▲	■
	2-③	マイギャラリー機能を用いたコンテストの開催等、キュレーション活動を実践します。	●	▲	■
	1-①	学校授業やカルチャースクールなど学びの場でのジャパンサーチの活用を推進するため、具体的な活用方法を提案し、また、情報交換の場の構築を支援します。	●	▲	■
	6-①	ジャパンサーチの利活用機能であるマイノート（ブックマーク機能）、マイギャラリー、ワークスペース、プロジェクトなどの利用方法を分かりやすく発信します。	●		
	6-⑦	多様なデジタルアーカイブのデータを使ったアイデアソン・ハッカソンを共同開催します。	●	▲	■
	2-②	より直感的にキュレーションが行えるよう、マイギャラリー機能の更なる改善を図ります。	●		
	10-⑥	ジャパンサーチ利用マニュアル、ヘルプ等のページを充実させます。	●		
	14-⑤	「開発者向け情報」の充実、また、APIを活用しやすいツールの提供により、ジャパンサーチのAPIを使ったアプリケーション等の作成を支援します。	●		
広報の強化	6-②	イベントやSNSを通じて、ジャパンサーチの連携コンテンツの紹介やデジタルアーカイブの様々な利活用事例を発信します。また、ジャパンサーチと連携機関の広報協力を推進します。	●	▲	■
	10-①				
	10-②	ジャパンサーチロゴをサイトに貼るなど、連携機関等のデジタルアーカイブ・ウェブサイトからジャパンサーチにアクセスするための流入入口を設けます。		▲	■
	2-⑤	ジャパンサーチの連携コンテンツを広報活動において素材として活用し、それを通じて報道機関などメディアが発信する素材としての活用を促進します。	●	▲	■
	6-④	組織やコミュニティ内の広報関係者、教育担当者、展示企画担当者等にジャパンサーチの取組を情報共有します。		▲	
	6-⑤	組織内やコミュニティ内の研修において、ジャパンサーチを紹介します。		▲	■
	6-⑧	報道機関等のメディアや様々な領域のクリエイターにジャパンサーチの連携コンテンツの活用方法を紹介します。	●	▲	■
6-⑨	地方自治体等（行政）にデジタルアーカイブの意義と活用事例を分かりやすく発信します。	●			
14-②	世界で多く利用されている検索エンジンでジャパンサーチのページが上位に表示されるようSEO対策を行います。	●			
関連する知識と経験の共有	3-③	組織内・コミュニティ内の関係者と一緒にジャパンサーチのイベント等に参加して、知識・経験を共有します。		▲	■
	7-④	組織内・コミュニティ内で既存のネットワークを使って、デジタルアーカイブに関する取組を共有します。		▲	■
	7-①	「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」をはじめとするデジタルアーカイブ推進に当たってのガイドラインや「デジタルアーカイブアクセスメントツール」を必要に応じて改訂し、広く共有します。	●	▲	
	4-②	「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン」及び「デジタルアーカイブアクセスメントツール」を普及するため、説明会の開催、マニュアルの作成等を行います。	●		
	3-④				
	7-⑤	連携機関によるアーカイブ構築や連携事例等、実務的で有用な情報を発信します。	●	▲	■
	7-②	ジャパンサーチとの連携に必要な情報を分かりやすく発信します。また、連携促進となる活用者の声を届けます。	●		
	5-②	ジャパンサーチとの連携にかかるコストを低くするため、連携に必要な事項の共有、推奨する連携方法の普及に努めます。	●	▲	■
	15-①	連携機関と活用者との交流、異なる分野・地域コミュニティ間の交流促進を目的としたイベント等を開催します。（例：ジャパンサーチフェス）	●	▲	■
	16-③	デジタルアーカイブを用いて、サービス・日常業務の変革が行われたベストプラクティスを共有します。	●	▲	■
16-⑤	デジタルアーカイブを日常にする取組（デジタル化の推進、オープン化の推進、新たなデジタル技術を用いた新しいサービスの提供等）を積極的に進める取組や活用者を表彰します。	●	▲	■	
	12-①	コンテンツ画像URLやサムネイル画像URL、解説、二次利用条件など、メタデータの内容を充実させます。	●	▲	

二次利用条件の整備 オープン化の推進	12-③	「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について」の周知を促進します。ジャパンサーチ上で提供されるデジタルコンテンツに適切な二次利用条件が分かり易く表示されるよう、適切な二次利用条件を設定します。	●	▲	
	13-①	ジャパンサーチと連携するデジタルコンテンツのオープン化（CC0、CC BY、CC BY-SA及びPDM）を検討し、可能な範囲でオープン化に取り組みます。		▲	
	13-②	コンテンツのオープン化の必要性・重要性を分かりやすい形で情報提供し、優れた取組事例の共有を図り、アーカイブ機関がオープン化に取り組める環境を醸成します。	●		
	13-③	オープン化に取り組んだ機関にインセンティブが生じるような仕組みを用意する。 （例：表彰する仕組み、EuropeanaのGIF IT UPのように、オープンな作品を使ったコンペの実施など）	●		
地域アーカイブとの連携拡充	3-①	幅広い分野・地域のデジタルアーカイブを繋ぎ、コンテンツを集約して使いやすいかたちで提供します。	●		
	9-①	ジャパンサーチに登録するデジタルコンテンツを増やします。幅広い時代・分野のコンテンツを拡充します。	●	▲	
	11-②	地域の特色あるデジタルコンテンツを増やします。		▲	
	11-①	47都道府県にある、地域の特色あるデジタルアーカイブとの連携を推進します。	●	▲	
	5-①	幅広い分野・地域のアーカイブ機関との連携を推進するため、デジタルアーカイブの連携の意義・必要性を広く周知します。	●	▲	■
	11-④	地域アーカイブの連携に関する優良事例の紹介、分野を横断した連携に必要な情報の提供、ジャパンサーチの連携のお試し機能（プロジェクト）の提供等により、地域アーカイブのつなぎ役となる機関の醸成を支援します。	●		
	11-⑤	つなぎ役経由で連携するアーカイブ機関がジャパンサーチと円滑に連携できるようにサポートします。	●		